

様式第12号（第7条関係）



令和1年11月22日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 明日のかわにし

議員名 田中 麻未

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名 坂口 美佳、 多久和 桂子、 田中 麻未

2 調査先 愛媛県今治市 クリーンセンター

3 調査期間 令和1年10月29日

4 調査結果の概要

愛媛県今治市 クリーンセンター「バリクリーンについて」

クリーンセンターが災害時の避難所としても整備されていることについて

今治市 クリーンセンター（バリクリーン）視察報告書

【21世紀のごみ処理施設のモデル（今治モデル）のコンセプト】

今治モデルを構築する3つの柱

- ① 廃棄物を安全かつ安定的に処理する施設
 - ② 地域を守り市民に親しまれる施設
 - ③ 環境啓発、体験型学習及び情報発信ができる施設
-
- ① 最先端かつ適正な処理技術により、厳しい公害防止基準値をクリア
30年間の長期安定稼働を目指し、各施設の耐久性向上により施設の長寿命化を実現
最新鋭システムの導入により、発電効率20%を達成
「くらしを支える守りの港」として廃棄物を安全かつ安定的に処理する施設を建設
 - ② 周辺環境に調和した施設計画で、これまでの清掃工場のイメージを一新した「架け橋」
をイメージした建築デザインと先進的なランドマークとなる煙突を採用
防災拠点として、断水時にも水の供給が可能な地下水揚水設備と、災害時には炊き出し
が可能なIH調理設備を導入
そのほかにも、災害時には風呂の開放、320人の市民が避難でき、避難者が7日間生
活できる備蓄機能も備える ※1人1日10Lの水を備蓄
サーマルリサイクルで 3,800 kW発電し年間2億円の売電収入を得ている※一般家庭
(400 kW/日と仮定した場合) 7,000 軒分を発電
「地域がにぎわう集いの港」として地域を守り市民に親しまれる施設を建設
 - ③ 工場の中身が見え、体感でき楽しみながら学べる見学者設備（ごみクレーンや蒸気ター
ビンの見学等）により年間4,100人の視察者が来場
多目的室や工作室、修理品展示室を利用したイベントの開催により「人と地域をはぐく
む学びの港」を実現
 - ④ ごみの分別種類について
6種17分別
【6種】可燃、不燃、粗大、資源、有害、危険
【17分別】可燃、不燃、粗大、無色ビン、茶色ビン、その他ビン、缶、
ペットボトル、プラ製容器包装、白色トレイ、新聞、雑誌、
段ボール、紙パック、古布、有害、危険
※直営、委託合わせてパッカー車88台で収集 ①可燃 ②不燃の順に1日2便の運行

⑤ ごみの収集コストについて

695,684,611 円（平成 30 年度実績）

4,367 円/人（市民 1 人あたりの平成 30 年度実績）

⑥ ごみ処理コストについて

675,693,873 円（平成 30 年度実績）

4,241 円/人（市民 1 人あたりの平成 30 年度実績）

⑦ 持ち込みごみについて

10Kg 100円

⑧ その他

川西市で行っている福祉戸別収集は現在未実施 ※国の基本方針が出次第検討

ステーション方式で可燃ごみ、不燃ごみを出すためのステーションは約 3,000 カ所（全て委託） 資源ごみステーションは約 1,000 カ所（旧今治市の地区は直営）

民間委託収集業者については一般入札だが入札は実質的に一社随契となっている状況

ごみ収集車の一日走行距離の平均は、直営（資源ごみ）60Km/日、委託 40Km/日
（※川西市は 53Km/日）

川西市とは異なるクリーンセンターの立地条件（市街地から最寄りの施設）であるため市民が避難所として活用できる防災施設を完備したごみ処理施設であった。

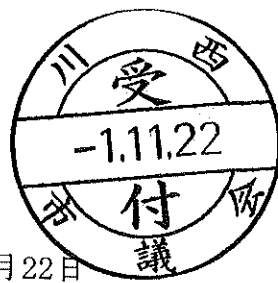
一方、川西市と人口規模はほぼ同じで市域面積は約 8 倍の規模にも関わらず、本市との収集コストに▲3,608 円の差（平成 30 年度実績）がある事に驚いた

※ごみの収集コストについては、今治市：4,367 円 川西市：7,975 円 池田市：4,692 円 伊丹市：3,806 円 宝塚市：4,855 円（市民 1 人当たりの平成 30 年度実績）

※今治市 人口 151,956 人（令和元年 10 月現在）

面積 419.14 km²（川西市 53.44 km²の約 8 倍）





2019年11月22日

川西市議会議長 様

会派(名称)名

明日のかわにし

議員名

坂口 美佳

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名 多久和 桂子 斯波 康晴

田中 麻未 坂口 美佳

2 調 査 先 第14回 全国市議会議長会 研究フォーラム

3 調 査 期 間 2019年10月30日～2019年10月31日

4 調査結果の概要

第14回 全国市議会議長会 研究フォーラム 参加

—議会活性化のための船中八策—

第1部 基調講演

現代政治のマトリクス—リベラル保守という可能性— 中島 岳志

第2部 パネルディスカッション

議会活性化のための船中八策

第3部 課題討論

議会活性化のための船中八策

研修報告書

第14回 全国市議会議長会研究フォーラム in 高知ちばさんセンター 『議会活性化のための 船中八策』

1日目 令和元年 10月30日(水) 13:00～16:50

2日目 令和元年 10月31日(木) 9:00～11:00



1日目 令和元年 10月30日

【第一部 基調講演】

『現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性』

講師：中島 岳志氏 [東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授]

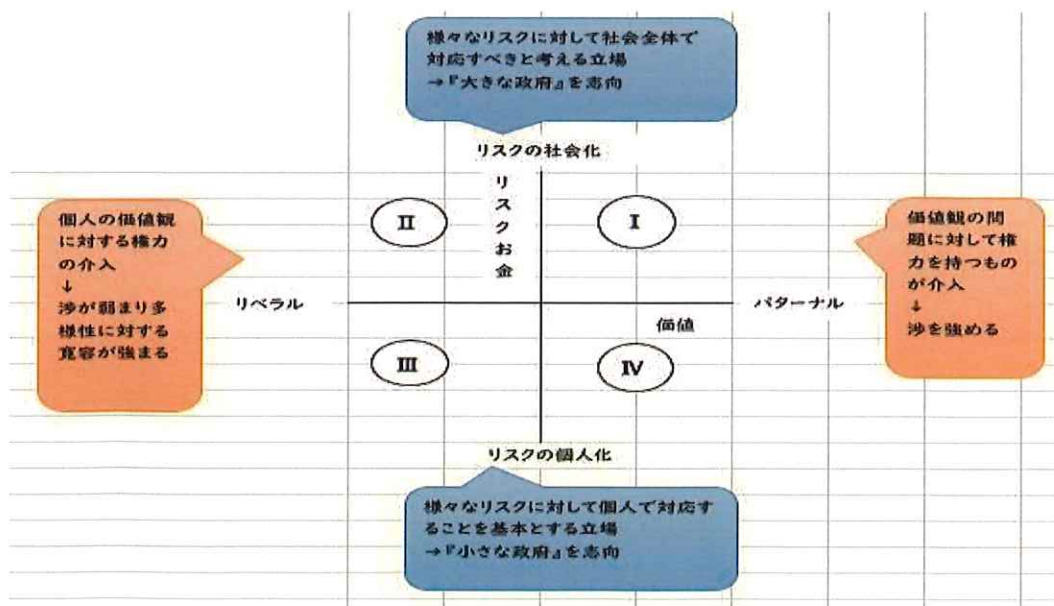
1. 政治のマトリクス

① 配分をめぐる軸・・・Y軸

→セーフティーネット強化(リスクの社会化) v s 自己責任(リスクの個人)

② 価値をめぐる軸・・・X軸

→リベラル v s パターナル



自民党の50年

希望の党はなぜ失敗したのか？

2. ラディカルデモクラシーとポピュリズム

物語の設定の重要性

① 2017年10月の立憲民主党フィーバー

・『枝野立て』→『立憲民主党はあなたです』

→2018年8月以降、支持率急落(12%→8%)

…立憲民主党の埋没(新たな物語の欠如)+永田町の論理(参議院での身内争い)

・自民党総裁選挙(2018年9月)

② 2019年のれいわ新選組フィーバー

ラディカルデモクラシー

① 熟議デモクラシー

② 闘技デモクラシー

→シャンタル・ムフ『左派ポピュリズムのために』(明石書店、2019年)

3. リベラルの逆説

・『寛容』としてのリベラル

・リベラルの起源としての宗教戦争

・『異なる他社と如何に共生するのか?』という問い

→個人の価値の領域には土足で踏み込まない

・『消極的自由』(～からの自由)と『積極的自由』(～への自由)

→自由のパラドクス

4. 保守とは何か?

・カール・マンハイム『保守主義的思考』ちくま学芸文庫、1997年

・『伝統主義』(自然的保守主義)と『保守主義』(近代的保守主義)

・『われわれは、普遍的な人間の本質としての伝統主義と、ひとつの特殊な歴史的・近代的現象としての保守主義とを区別する』

・エドモンド・バーク『フランス革命についての省察』

・懐疑主義的人間観

・過謬的存在としての人間

・真に理智的な人間は、理知の限界を理智的に把握する

→人間(および人間社会)の完成不可能性

・個人の理性を超えた存在…集团的経験知、良識、伝統、慣習、超越的存在…

・設計主義的合理主義への批判

・漸進主義

→保守するための改革

・『ニーバーの祈り』

・『神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受けいれるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ』

・私たちの現在は、膨大な過去の蓄積・知的財産の上に成立している

→『改革』とは、過去から相続した歴史的財産に対する永遠の微調整

・成文憲法の存在しないイギリスの立憲主義

→死者の立憲主義

【第二部 パネルディスカッション】

議会活性化のための船中八策

■コーディネーター 坪井 ゆづる氏 [朝日新聞輪説委員]

■パネリスト 高部 正男氏 [市町村職員中央研究所学長]

横田 響子氏 [(株)コラボラボ代表取締役]

古川 康造氏 [高松丸亀商店街振興組合理事長]

田鍋 剛氏 [高知市議会議長]

自治の主役にふさわしく

・行政監視機能をどうやって高め、成果をあげてゆくか。

・人口減少、外国人の増加、災害対策など、地域の将来を見すえた政策論議をすすめるために必要な視点とは何か。

・候補者男女均等法のもとで「老老男男」の実態をどう変えられるのか。

・規模の小さい議会で深刻化する「なり手不足問題」にどう対処するか。

・住民の関心を高めるには何をすべきか。

2日目

【第四部 課題討議】

議会活性化のための船中八策

■コーディネーター 坪井 ゆづる氏 [朝日新聞輪説委員]

■事例報告者 滝沢 一成氏 [上越市議会議員]

久坂 くにえ氏 [鎌倉市議会議長]

小林 雄二氏 [周南市議会議長]

データで見る地方議会

朝日新聞で地方議会の実施を幅広く探るアンケートを実施
(2011年から4年に一度の統一地方選に合わせて)

【女性議員】

議会選挙で男女の候補者数をできる限り「均等」にするよう政党に求める法律が2018年施行された。結果、全体の約2割が「女性ゼロ」。市議会に限って見れば、36議会(4.4%)とかなり少ない。

【なり手不足】

一般市議会、特別区でも216議会(27%)が課題と回答

【報酬】

この4年間で一般議員の報酬を増額した議会は400議会、減額した議会は49議会。政令都市を除く市議会と特別区では166議会が増額。

【議会基本条例】

議会基本条例を策定している議会は519議会(63.7%)、町村議会なども含めた全議会での48.3%を大きく上回る。検討中で、近く制定予定という市議会は17%(2%)

【3ない議会】

1. 首長提案議案をひとつも、否決も修正もしていない。
2. 議員提案の政策条例をひとつも制定していない。
3. 議員個人の賛否を公開していない。

この3項目はすべてに当てはまる議会を「3ない議会」と名づけている
2011年調査では653議会(36%)、2015年調査は409議会(23%)、2019年は304議会(36%)と年々減少傾向。

